

看護 diary

8月



## 「日々、ご家族に寄り添う看護を心掛けて」

看護師歴24年目 外来 佐々木久恵



当院の外来では新型コロナウイルス感染症により発熱患者様が増えてきており、外来スタッフは標準予防策・个人防护具の正しい使用を行い感染拡大防止に努めています。

私は病棟勤務を経験し、18年間外来看護師として勤務しています。病棟勤務を経験したことで患者様はもちろんのこと、ときには患者様のご家族への関わり的重要性を感じています。救急処置対応中でもご家族に対し、心配なことや不安なことなどないか声をかけるように心掛けています。

先日、夜間救急外来に関わった患者様は、ご夫婦2人暮らしで奥様のご主人の介護で疲れている様子でした。奥様に声をかけたところ、介護サービスを受ける方法がわからないなど不安や心配なことを話されました。私は奥様の話に傾聴し、アドバイスをさせていただきました。奥様より、今まで誰にも相談できなかつたから、話を聞いてもらえて、これからも頑張ろうと思えましたと笑顔でご主人と帰られました。

夜救急外来において、患者様、付き添われているご家族への声掛けや、お話の機会を大切にし、寄り添うことを心がけていきたいと思えます。

